



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 中井 隆夫
(コード番号 5901 東証第一部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 小笠原 宏喜
(TEL 03-4514-2001)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期において特別損失の計上を見込むとともに、最近の業績動向などを踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が本日公表いたしました「当社連結子会社における希望退職者の募集および生産設備の集約に関するお知らせ」に関しまして、当該希望退職および生産設備の集約にかかる費用として約 70 億円を、平成 28 年 3 月期の連結決算において特別損失に計上する見込みであります。

2. 業績予想数値の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 810,000	百万円 20,000	百万円 23,000	百万円 10,000	円 銭 49.29
今回修正予想 (B)	800,000	27,000	26,000	7,000	34.51
増減額 (B-A)	△10,000	7,000	3,000	△3,000	
増減率 (%)	△1.2	35.0	13.0	△30.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	784,362	15,080	23,851	3,604	17.77

3. 修正の理由

売上高は、海外における機械販売が低調に推移したほか、電池材などの鋼板および機能材料の販売が減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。営業利益は、グループ全体のコスト削減効果に加え、原油価格の下落などを背景として、原材料・エネルギー価格が期初予想を下回る水準で推移していることから、前回予想を上回る見込みです。経常利益は、海外子会社への外貨建て貸付金等にかかる為替差損を計上する見込みではありますが、営業利益の増加により前回予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記 1. のとおり特別損失を計上する予定であり、前回予想を下回る見込みです。

なお、平成 28 年 3 月期の期末配当金につきましては当初予定と変更ございません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上